

12月例会 「変化の時代に生き残りをかけて」

～企業選別の 進む中、判断されるポイント～

12月18日 於 食事苑京阪

「厳しい時代やなあ・・・。」とつい愚痴をこぼしてしまいそうな今日この頃。我々、後継者・若手経営者には何が問われているのかを悩み、迷う日々が続いていませんか？ そんな迷いやあせりの中に、「厳しさを日に日に増す、経済環境の中、我々後継者は、ものづくりばかり、日々の業務にばかり追われているだけで本当に良いのだろうか？」「目先の自分の仕事だけではなく、世間・社会の行く末、そして自社の行く末の指針をはやく、見つけなければならぬのではないか？」「後継者として経営者として、いくら混迷の霧の中に居ようとも、「こんなことぐらいは知っておけよ！！」と思われることはいっぱいあるだろう。そんな一つに、「お金のこと」「銀行のこと」がある。

日頃、二代目・三代目ということで金融機関さんとの御話しは、社長（親父や御袋）にまかせっぱなしみたいなことになっていないか？」というようなことを考えている時に、地元を応援しながら金融機関で快進撃を遂げておられる、京都中央信用金庫様より専務理事を御招きし「変化の時代に生き残りをかけて」と題して、金融情勢も含めて我々、若手経営者にまさに「喝」を入れていただくような元気な御話しをいただきました。また、ご講演を頂戴した後日の例会ではグループディスカッション（4グループ）を行い、経営者としてのあり方や、考え方について諸先輩の方々の御話しを伺いながら、若手経営者が問うというかたちで進行されました。熱く、御互いの心に響く言葉は、新しい年を迎えるにあたっても勇気を与えていただけてのではないかと思います。



今回の例会には、NHK のテレビ取材があり、決して緊張したり、何か目立つことをと考えた訳ではなかったのですが、真の機青連を撮っていただくにも大変な時間と 会員各位の多くのお力添えをいただきました。あらためて、会員の皆様、取材いただきました NHK の皆様、ありがとうございました。

21世紀も2002年を終え、ますます厳しく、不透明な時代に突入していく感がありますが、「フラットな関係を大切にする」「育とう・育てよう・育ち合おう」という機青連スピリットを大切にし、立ち止まらず元気に全国の仲間の皆さんに中小企業経営者の熱き想いを発信しつづけて行きたいのですね。



そして、機青連に籍を置くなら「何か自分のやりたいことを、やってみる。そして、その結果を大切に、明日への糧にして行く。」ということに、これからもどんどん挑戦していきたいものです。（特に、もう親父にも、あまり怒られなくなった会員のみなさま、是非！！）